

4 区の情報発信のあり方

-
- (1) 区の情報入手手段
 - (2) 重要と考える区の情報
 - (3) 必要な時に必要とする区の情報入手状況
 - (4) 区の情報得られない理由
 - (5) 区の情報得られない理由の詳細
-

4 区の情報発信のあり方

(1) 区の情報入手手段

問12 あなたは、足立区に関する情報をどのような手段で入手していますか

(〇はあてはまるものすべて)。

■ 「あだち広報」が6割台半ばで最も高く、次いで「トキメキ」が約3割

ア 単純集計・経年比較／区の情報入手手段

(ア) 足立区に関する情報の入手媒体の上位は以下のとおりとなっている。

- ① 「あだち広報」(67.1%)
- ② 「トキメキ」(29.4%)
- ③ 「区のホームページ」(25.7%)
- ④ 「町会・自治会の掲示板・回覧板」(25.1%)
- ⑤ 「テレビ、ラジオ」(20.2%)

(イ) 経年でみると、上位5項目では「トキメキ」(+0.3ポイント)を除く4項目で減少となっており、「区のホームページ」で4.7ポイントの減少、「町会・自治会の掲示板・回覧板」で4.3ポイントの減少となっている。また、「Aメール」でも3.7ポイントの減少となっている。

図4-1-1-① 経年比較／区の情報入手手段

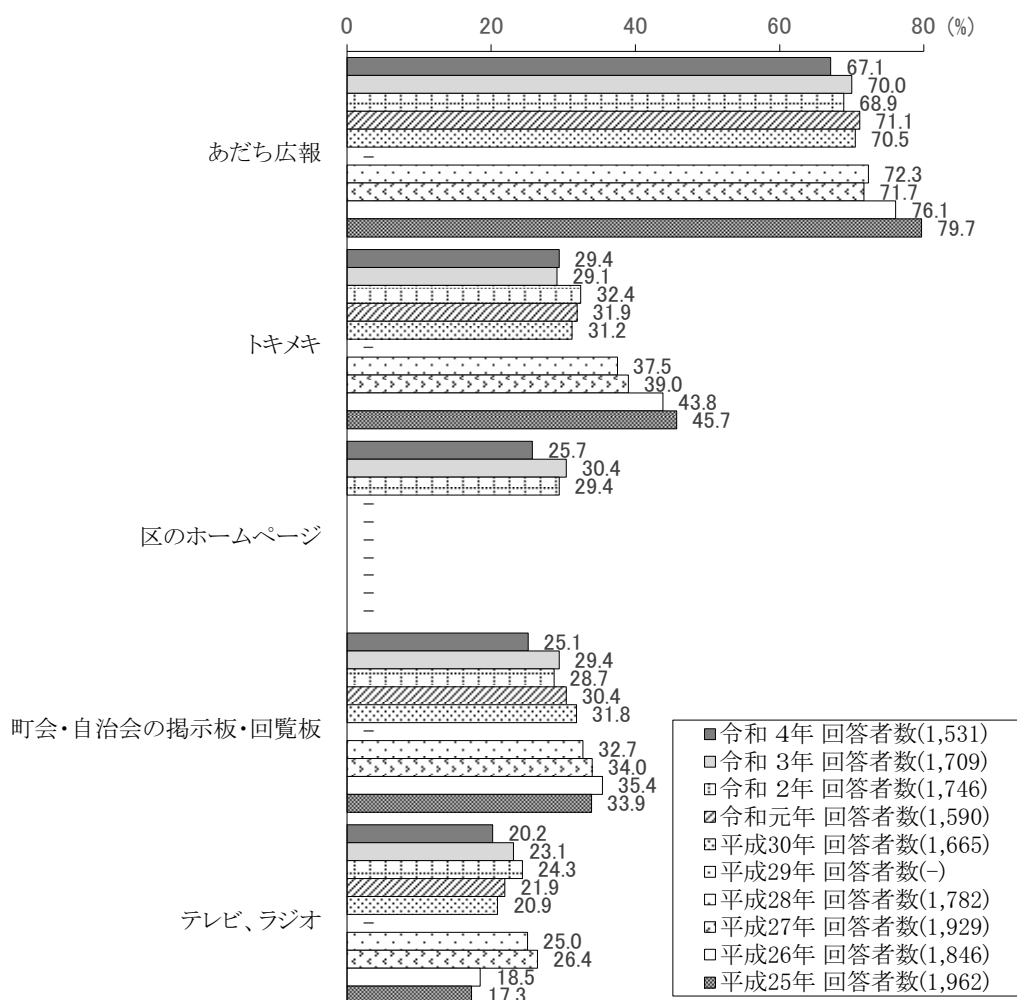


図4-1-1-② 経年比較／区の情報入手手段

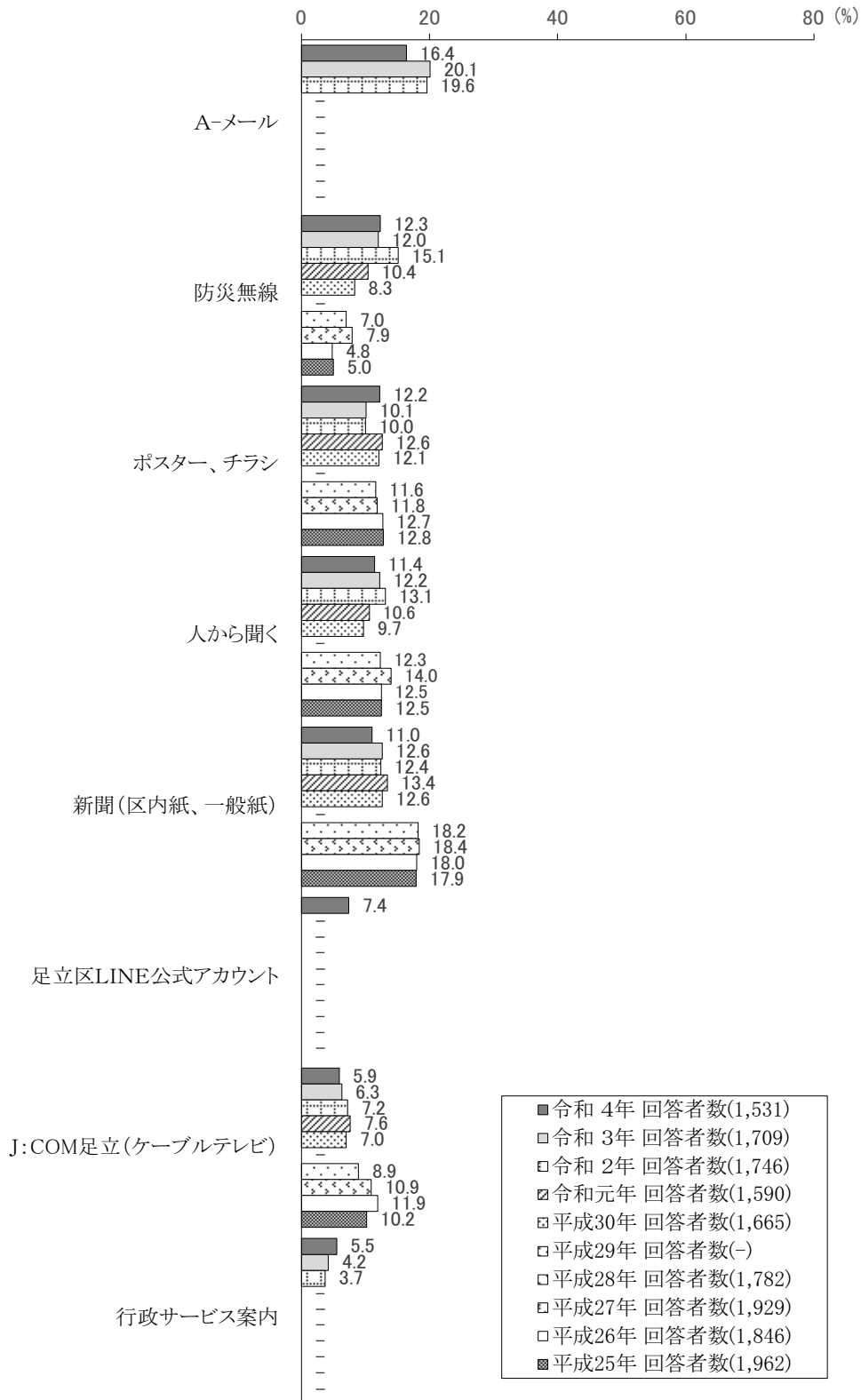
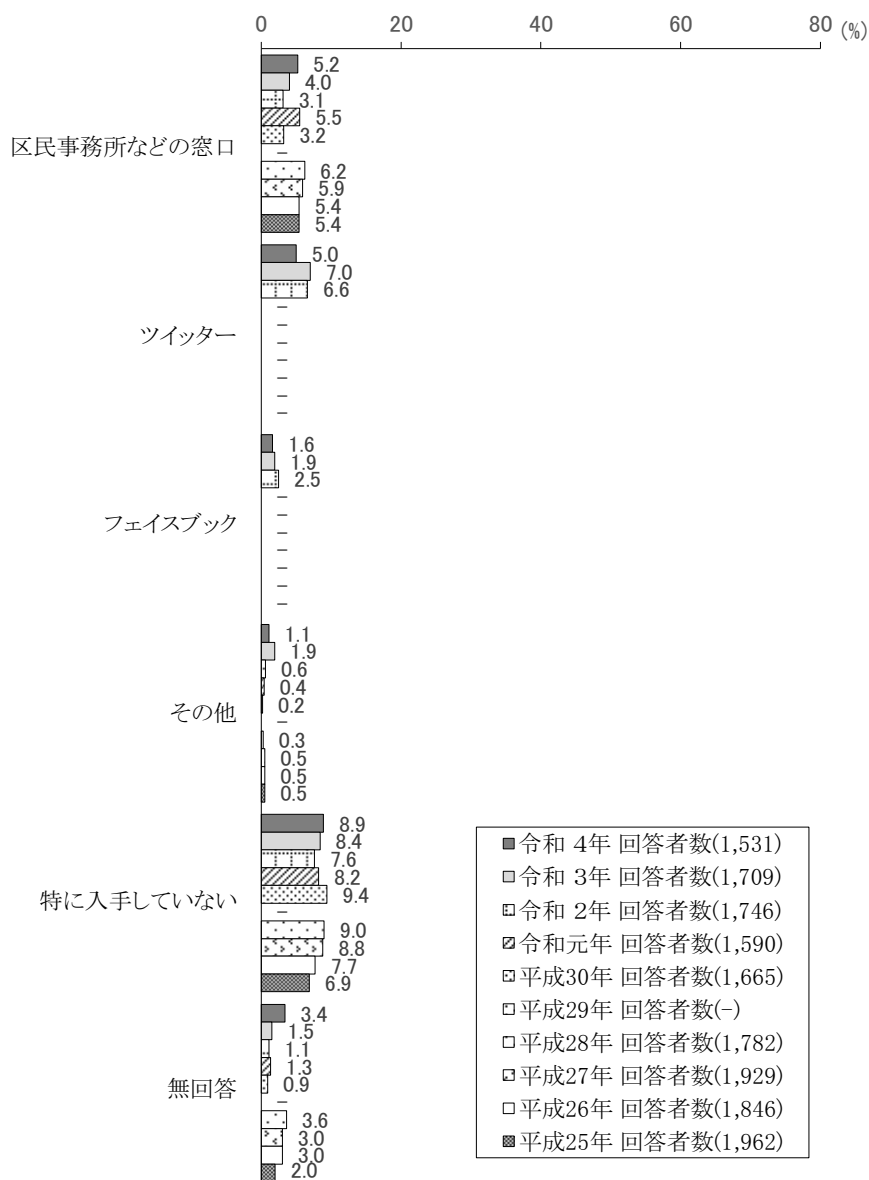


図4-1-1-③ 経年比較／区情報の入手手段

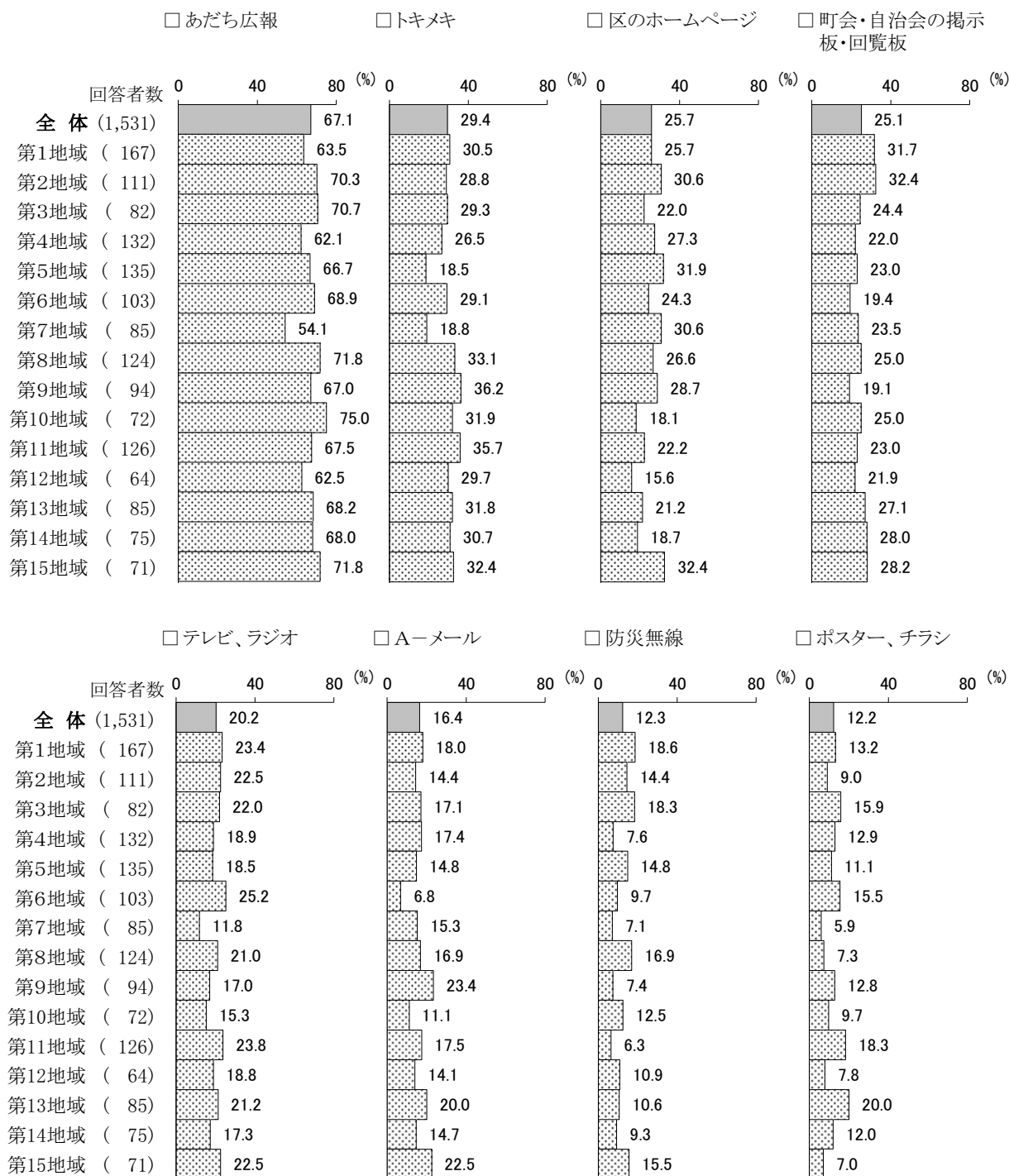


- ※ 本設問は、平成25年度以降から聴取しているが、平成29年度では聴取していない。
- ※ 令和元年度まで「インターネット（区のホームページ、Aメール、ツイッター、フェイスブック）」の単独1項目で測定していたものを、令和2年度よりそれぞれの4項目に細分化して聴取している。
- ※ 「足立区LINE公式アカウント」は今回の令和4年度調査で新設。

イ クロス集計・地域別／区の情報入手手段（上位8項目）

地域別でみると、「あだち広報」は第10地域で75.0%と最も高く、第7地域で54.1%と最も低くなっている。また、「トキメキ」は第9地域と第11地域で3割台半ば、「区のホームページ」は第15地域で3割強、「町会・自治会の掲示板・回覧板」は第2地域で3割強とそれぞれ最も高くなっている。

図4-1-2 地域別／区の情報入手手段／上位8項目

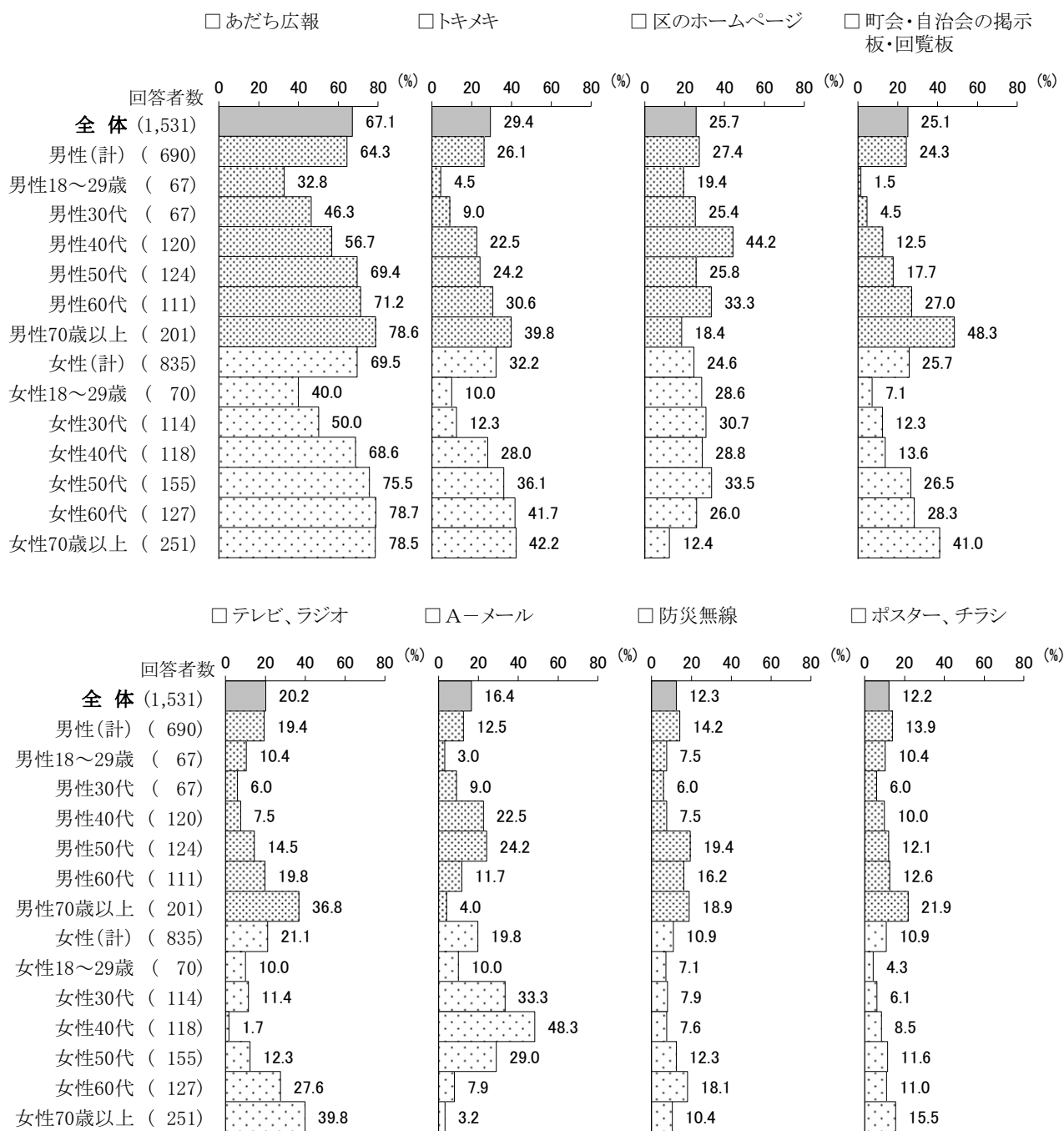


ウ クロス集計・性別、性・年代別／区の情報入手手段（上位8項目）

(ア) 性別で見ると、上位の項目では女性の方が高く、「A-メール」、「トキメキ」、「あだち広報」でそれぞれ5ポイント以上女性の方が男性より高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、「あだち広報」、「トキメキ」、「町会・自治会の掲示板・回覧板」などの紙媒体は男女とも年代が上がるほど割合も高く、年代層での差が大きくなっている。また、「区のホームページ」、「A-メール」などの電子媒体は30～50代の中間年代層で高くなっている。

図4-1-3 性別、性・年代別／区の情報入手手段／上位8項目



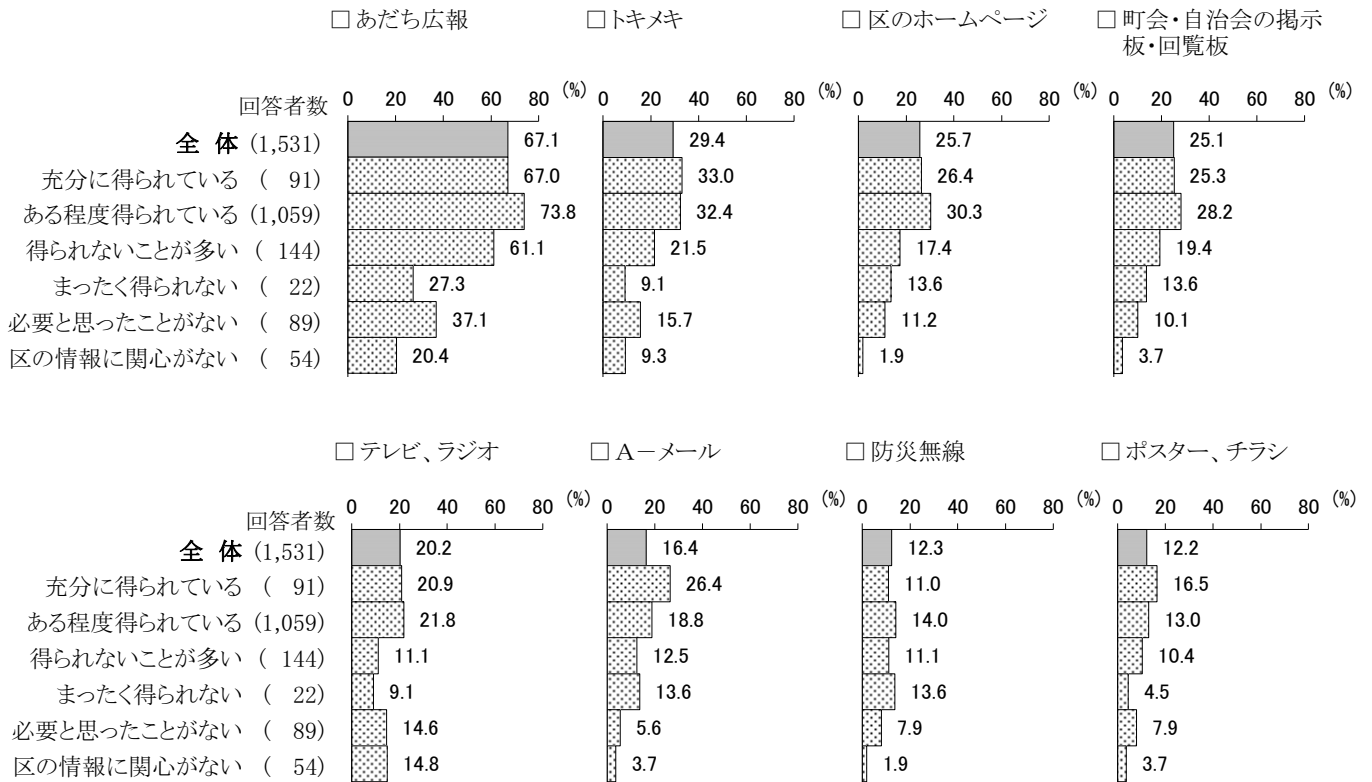
第3章 調査結果の分析 〈 区の情報発信のあり方 〉

エ クロス集計・必要な時に必要とする区の情報入手状況別／区の情報入手手段

(上位8項目)

必要な時に必要とする区の情報入手状況別にみると、「あだち広報」「トキメキ」「区のホームページ」「町会・自治会の掲示板・回覧板」などの上位の項目では、〈十分に得られている〉と〈ある程度得られている〉を合わせた【情報が得られている層】の割合が高くなっている。

図4-1-4 必要な時に必要とする区の情報入手状況別／区の情報入手手段／上位8項目



(2) 重要と考える区の情報

問13 あなたは、区が発信するどのような情報が重要だと考えていますか

(〇はあてはまるものすべて)。

■ “健康や福祉” が6割、“災害や気象” が6割弱

ア 単純集計・経年比較／重要と考える区の情報

(ア) 重要と考える区の情報の上位は、以下のとおりとなっている。

- ① 「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」 (60.2%)
- ② 「災害や気象に関する情報」 (58.6%)
- ③ 「国保・年金・税などに関する届出や証明に関する情報」 (52.5%)
- ④ 「ごみ・リサイクルなど環境に関する情報」 (46.2%)

(イ) 前回の令和3年調査との比較でみると、上位4位までの順に変動はないが、1位の「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」(-3.6ポイント)と2位の「災害や気象に関する情報」(-4.5ポイント)でそれぞれ3ポイント以上減少している。

図4-2-1-① 経年比較／重要と考える区の情報

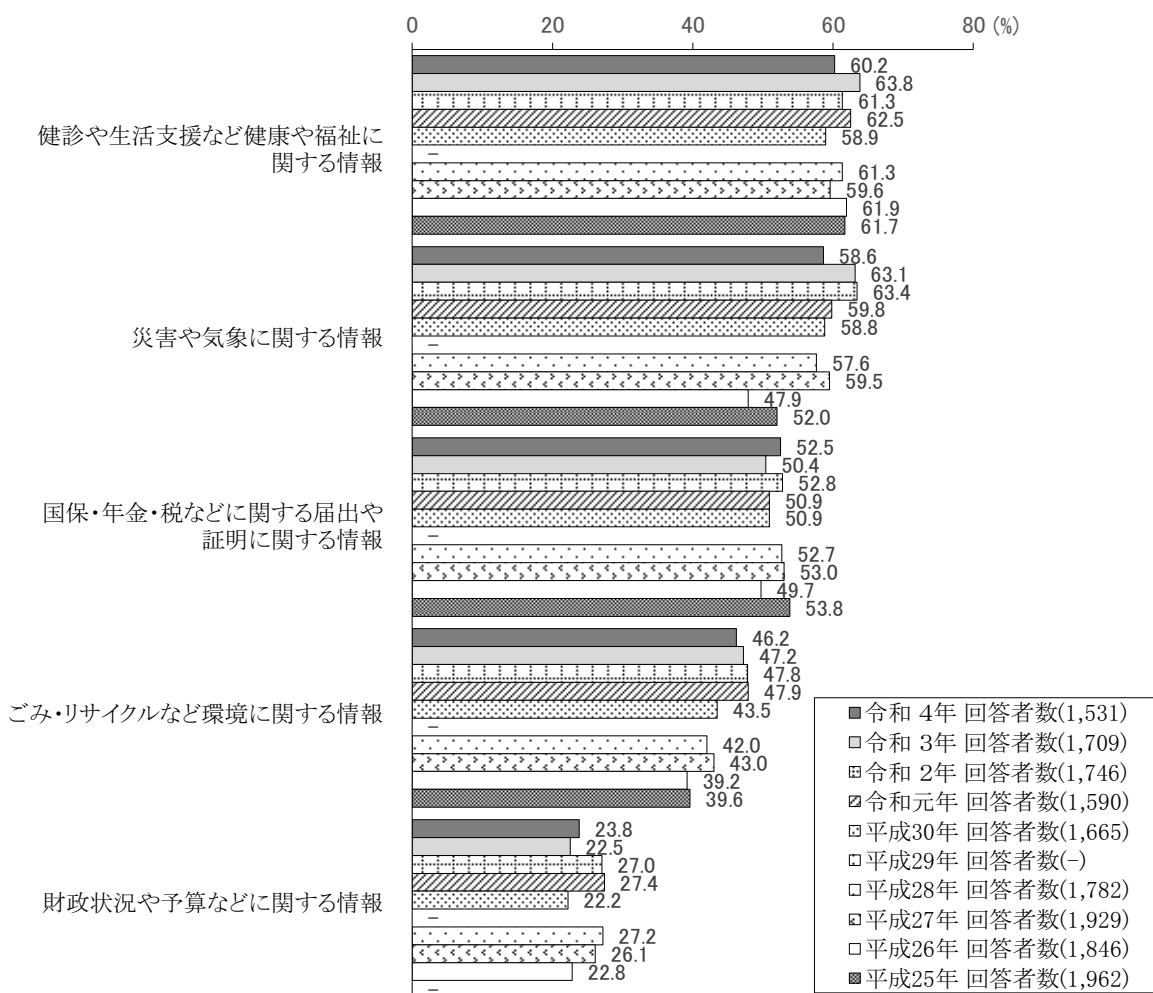
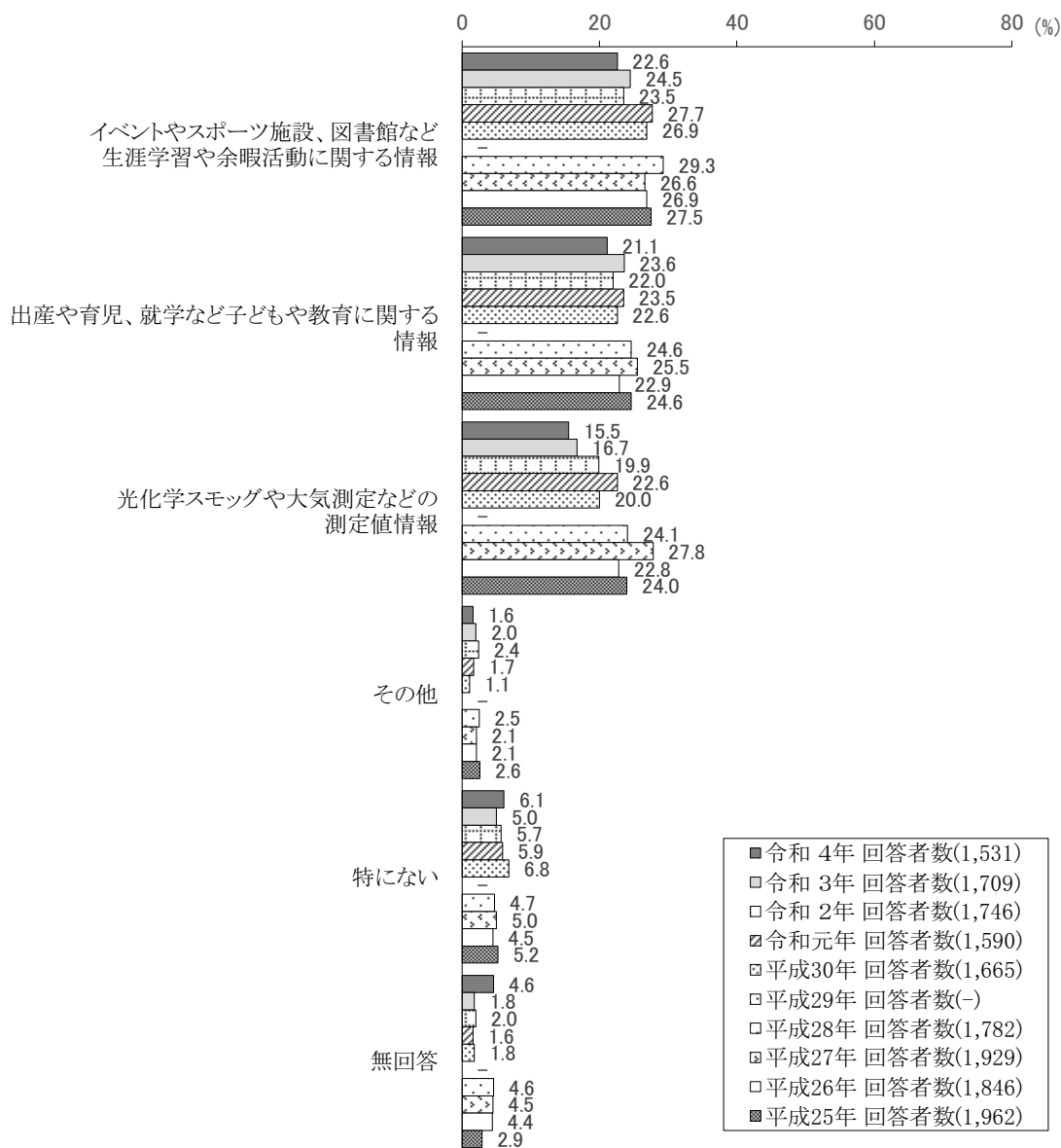


図4-2-1-② 経年比較／重要と考える区の情報



- ※ 本設問は、令和元年度まで「どのような情報が必要だと思いますか」という設問文で聴取していたが、令和2年調査から「どのような情報が重要だと考えていますか」という設問文にかえた。
- ※ 本設問は、平成25年度以降聴取しているが、平成29年度では聴取していない。
- ※ 「財政状況や予算などに関する情報」は平成26年度で新設。

イ クロス集計・性別、性・年代別／重要と考える区の情報（上位8項目）

(ア) 性別で見ると、男性の方が女性よりも高くなっている項目

a 「財政状況や予算などに関する情報」（+6.8ポイント）

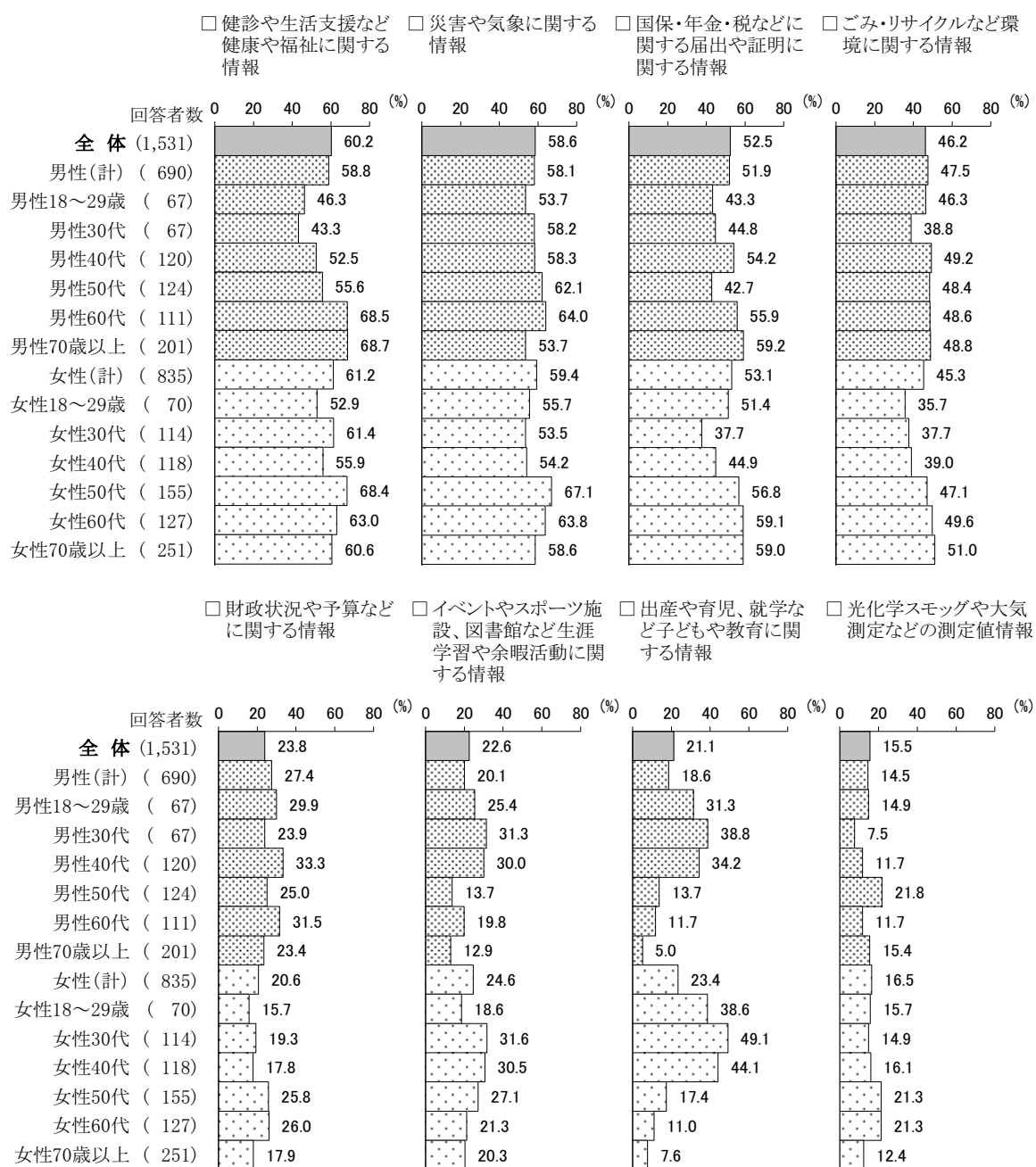
(イ) 性別で見ると、女性の方が男性よりも高くなっている項目

a 「出産や育児、就学など子どもや教育に関する情報」（+4.8ポイント）

b 「イベントやスポーツ施設、図書館など生涯学習や余暇活動に関する情報」（+4.5ポイント）

(ウ) 性・年代別で見ると、男女ともに「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」と「国保・年金・税などに関する届出や証明に関する情報」はおおむね年齢が上がるほど割合も高くなる傾向がみられる。また、「災害や気象に関する情報」は女性の50代で67.1%と最も高く、「ごみ・リサイクルなど環境に関する情報」は女性の70歳以上で51.0%と最も高くなっている。

図4-2-2 性別、性・年代別／重要と考える区の情報／上位8項目

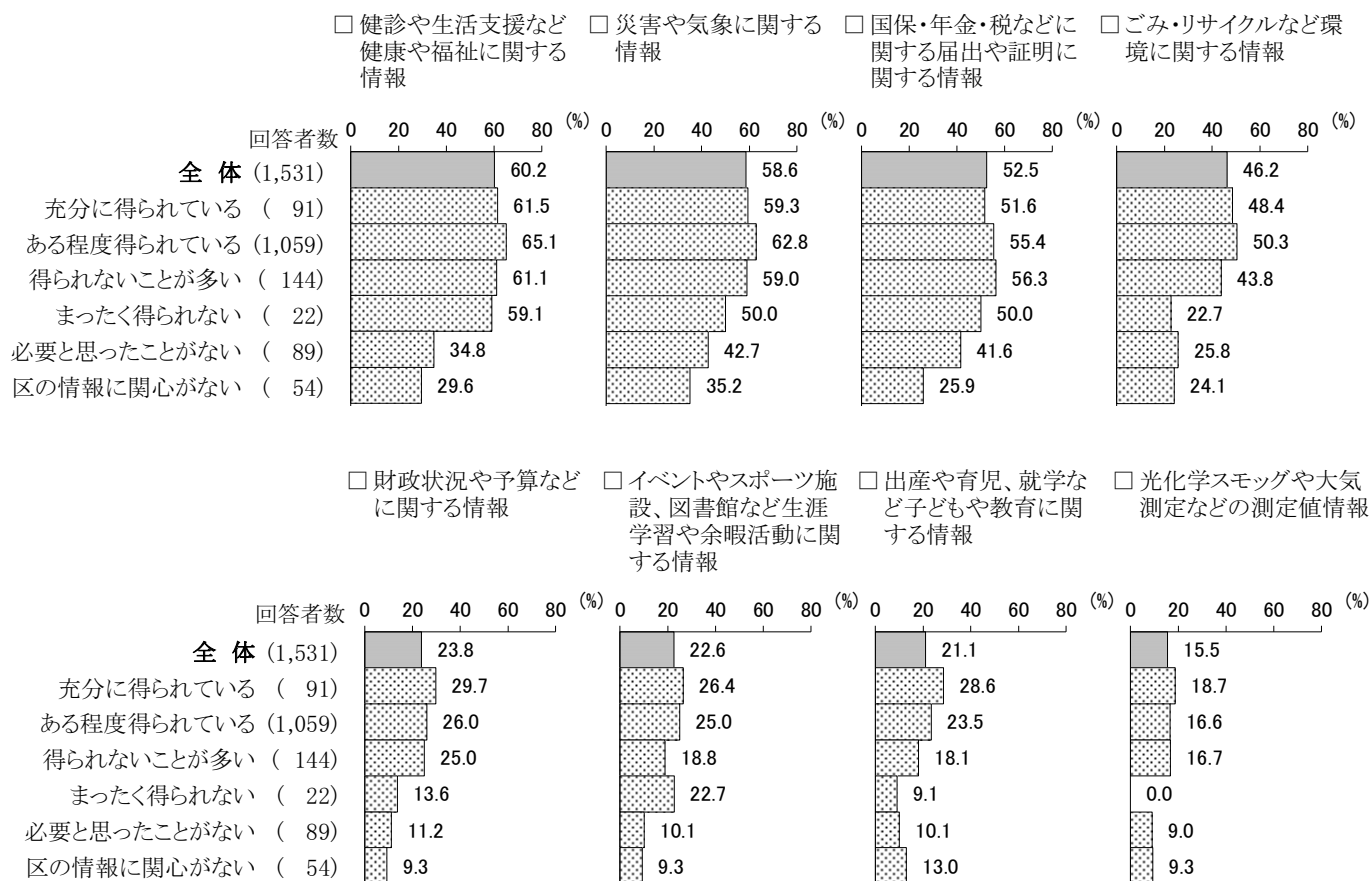


ウ クロス集計・必要な時に必要とする区の情報入手状況別／重要と考える区の情報

(上位8項目)

必要な時に必要とする区の情報入手状況別に上位項目をみると、〈まったく得られない〉はサンプル数が少ないため参考程度となるため、〈十分に得られている〉〈ある程度得られている〉〈得られないことが多い〉の3項目でみると、「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」、「災害や気象に関する情報」、「ごみ・リサイクルなど環境に関する情報」では〈ある程度得られている〉が最も高く、「国保・年金・税などに関する届出や証明に関する情報」では〈得られないことが多い〉が最も高く、「財政状況や予算などに関する情報」や「出産や育児、就学など子どもや教育に関する情報」では〈十分に得られている〉が最も高くなっている。

図4-2-3 必要な時に必要とする区の情報入手状況別／重要と考える区の情報／上位8項目



(3) 必要な時に必要とする区の情報入手状況

問14 あなたは、必要な時に必要とする区の情報を得られていますか（○は1つだけ）。

■ 必要なときに【得られている】は7割台半ば、【得られていない】は1割

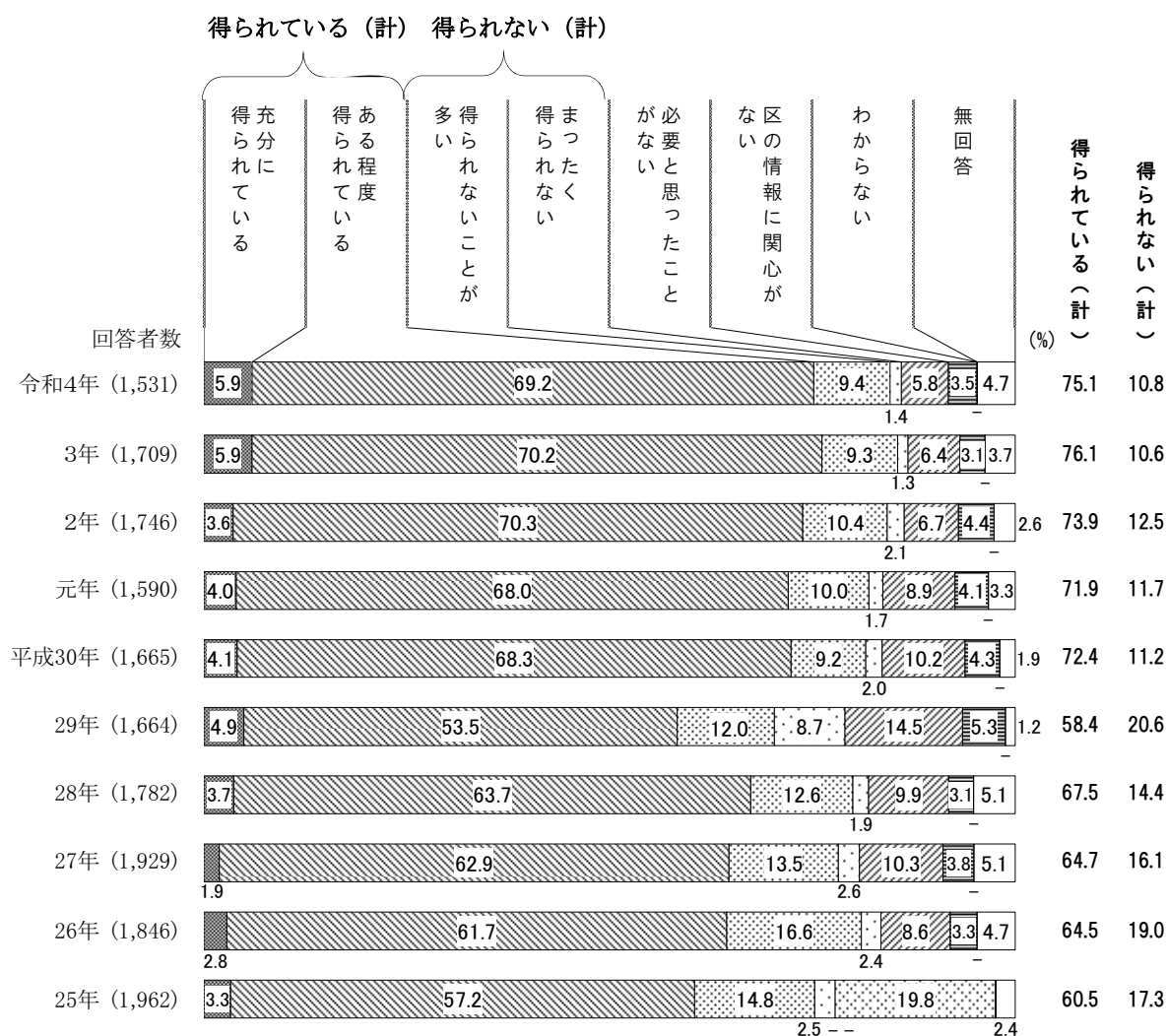
ア 単純集計・経年比較／必要な時に必要とする区の情報入手状況

(ア) 必要な時に必要とする情報を得られているかについては、「十分に得られている」が5.9%で、これに「ある程度得られている」の69.2%を合わせた【得られている】は75.1%となっている。

(イ) 必要な時に必要とする情報が「得られないことが多い」は9.4%、「まったく得られない」は1.4%で、これらを合わせた【得られない】は10.8%となっている。

(ウ) 経年でみると、前回の令和3年調査から特に大きな違いはみられない。

図4-3-1 経年比較／必要な時に必要とする区の情報入手状況



※ 「必要と思ったことがない」「区の情報に関心がない」は、平成26年度新設。

※ 「わからない」は、平成26年度から削除。

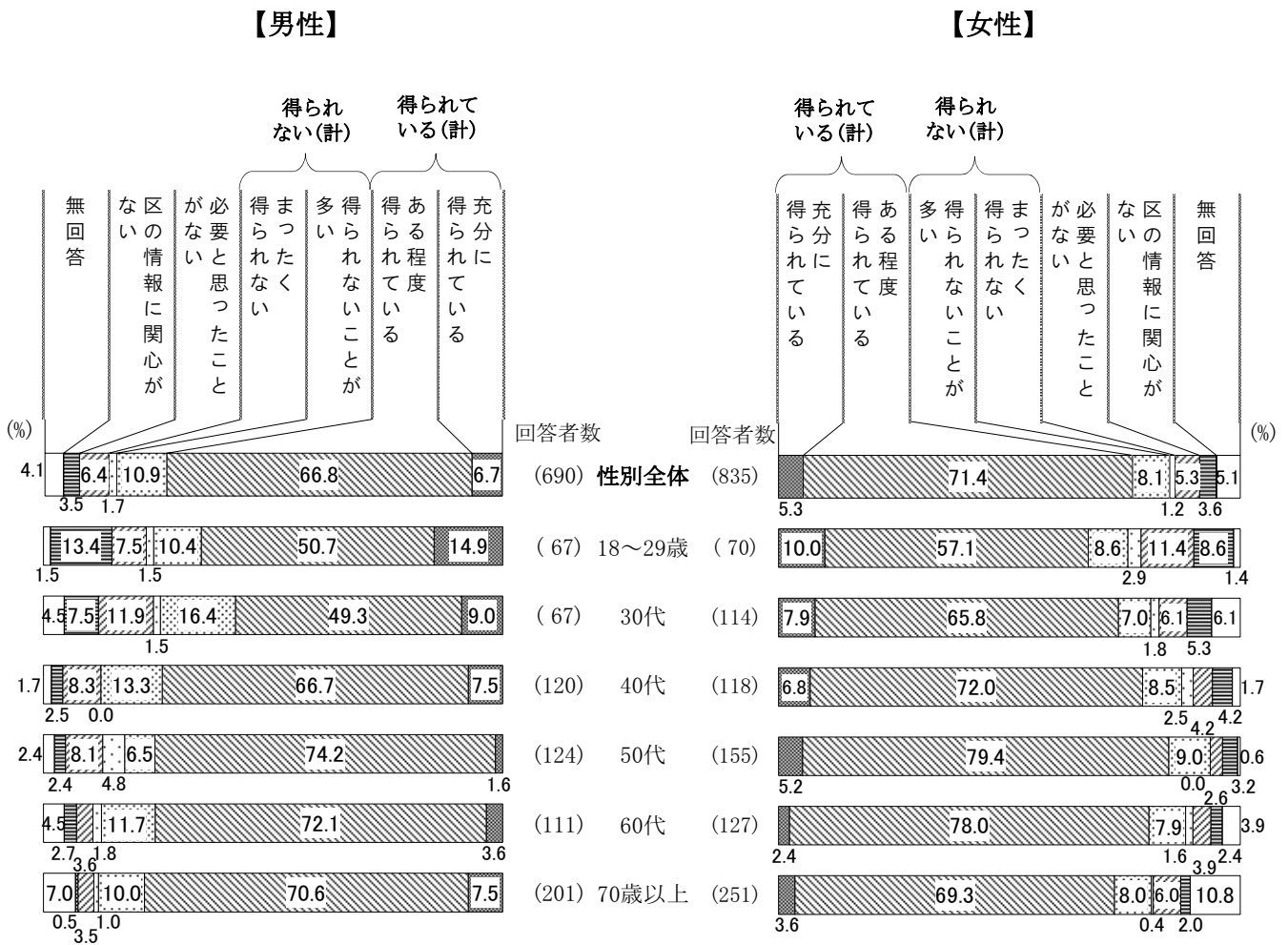
※ 平成29年調査では、本設問の前の問である〈区の情報入手手段〉および〈必要とする区の情報〉を聴取していないため、経年比較では平成29年度の結果との比較は行わない。

イ クロス集計・性別、性・年代別／必要な時に必要とする区の情報入手状況

(ア) 性別でみると、【得られている】は女性（76.6%）の方が男性（73.5%）より3.1ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別でみると、【得られている】は、女性の50代が84.5%で最も高く、次いで女性の60代（80.3%）となっている。一方、「区の情報に関心がない」は男性の18～29歳（13.4%）で1割台半ば近くと他の性・年代層に比べて特に高くなっている。

図4-3-2 性別、性・年代別／必要な時に必要とする区の情報入手状況



(4) 区の情報得られない理由

問14で「3 得られないことが多い」または「4 まったく得られない」とお答えの方に
問14-1 主にどのような理由からですか (〇は1つだけ)。

■ “情報が探しにくい” が3割台半ば、“情報の探し方がわからない” が2割台半ば近く

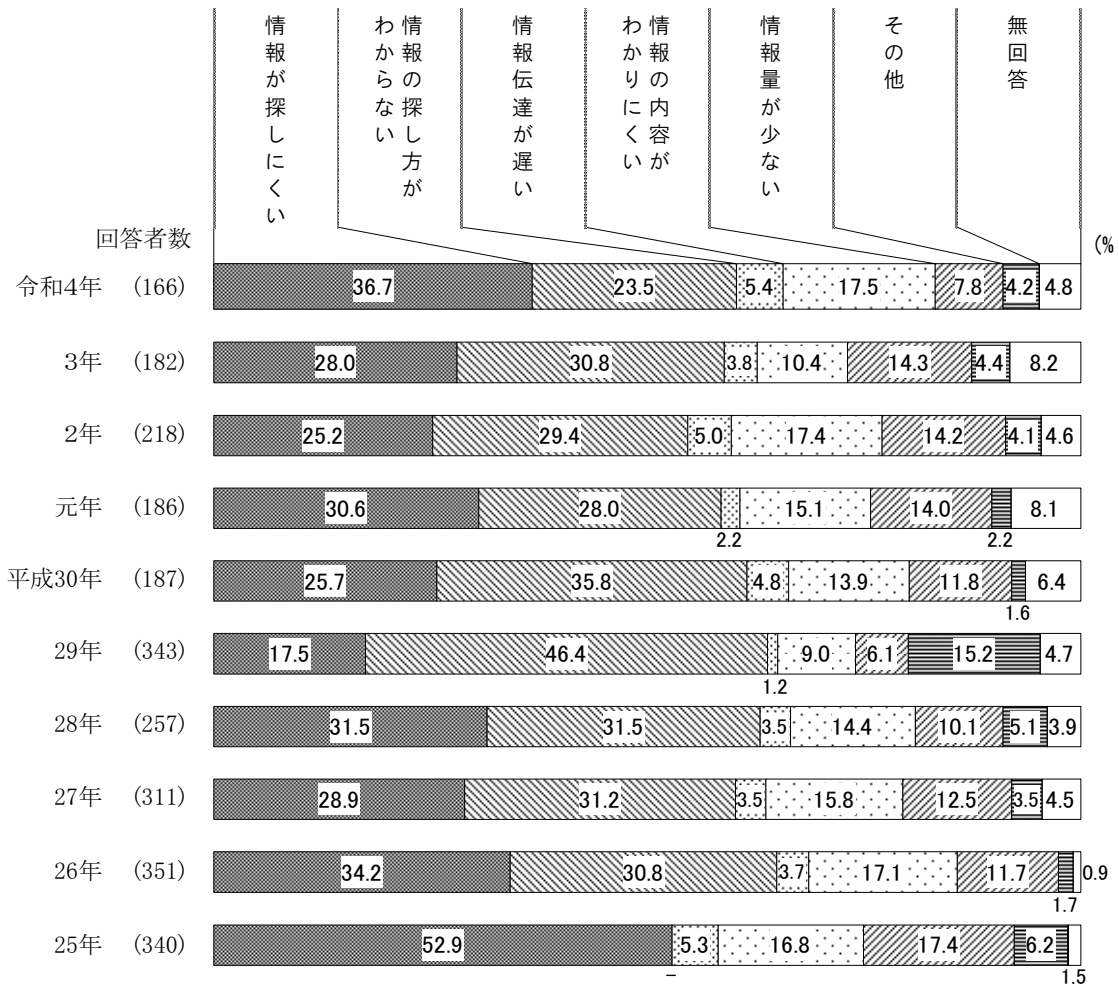
ア 単純集計・経年比較／区の情報得られない理由

(ア) 区の情報【得られない】という人にその主な理由を聞いたところ、割合が高い順に以下のとおりとなっている。

- ① 「情報が探しにくい」 (36.7%)
- ② 「情報の探し方がわからない」 (23.5%)
- ③ 「情報の内容がわかりにくい」 (17.5%)

(イ) 前回の令和3年調査との比較でみると、「情報が探しにくい」が8.7ポイント増加し、「情報の内容がわかりにくい」も7.1ポイント増加している。

図4-4-1 経年比較／区の情報得られない理由



※ 「情報の探し方がわからない」は、平成26年度新設。

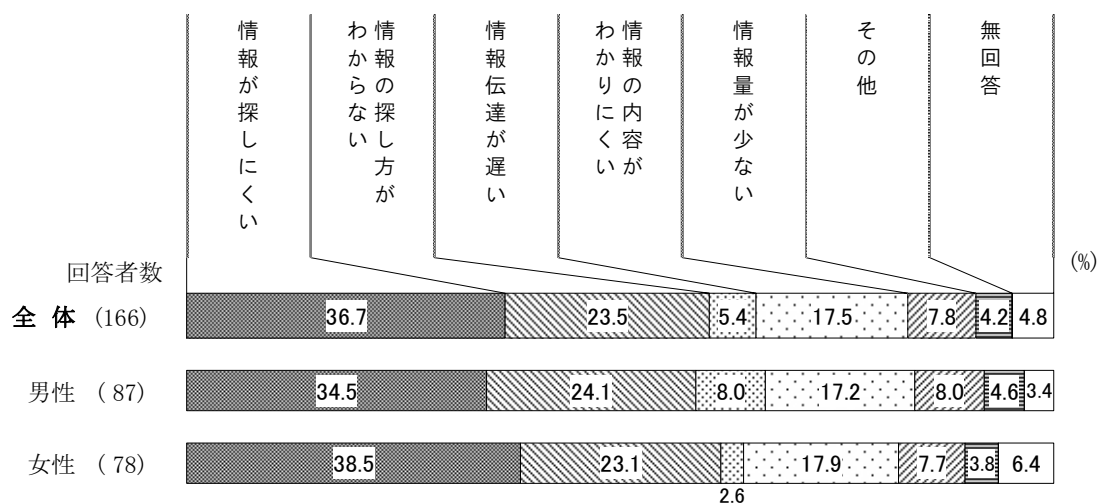
※ 平成29年調査では、本設問の前問である〈区の情報入手手段〉および〈必要とする区の情報〉を聴取していないため、経年比較では平成29年度の結果との比較は行わない。

第3章 調査結果の分析 〈 区の情報発信のあり方 〉

イ クロス集計・性別／区の情報得られない理由

性別で見ると、「情報が探しにくい」は女性（38.5%）の方が男性（34.5%）より4.0ポイント高く、逆に「情報伝達が遅い」は男性（8.0%）の方が女性（2.6%）より5.4ポイント高くなっている。

図4-4-2 性別／区の情報得られない理由



(5) 区の情報得られない理由の詳細

問14で「3 得られないことが多い」または「4 まったく得られない」とお答えの方に
問14-2 問14-1の回答のように思われるのは、どうしてですか。理由をお書きください。

区の情報得られない理由として寄せられた自由回答の内容を「あだち広報」「区のホームページ」「その他」の3項目ごとに、主な内容と件数をまとめてみた。

あだち広報 (69名のご回答)	件数
読みづらい、わかりづらいから	21
見る時間がない・見る機会が少ないから	14
自分にとって必要ない情報が多いから	10
そもそも読んでいない	6
情報が多すぎる	5
内容が少ない・薄いから	3
情報の提供が遅い	3
その他	9

区ホームページ (58名のご回答)	件数
探しにくい、わかりづらいから	27
(あまり) 見ないから	16
操作方法がわからないから	4
スマホ・PCを使わない・所有していない	4
情報が少ない・欲しい情報がないから	3
区のホームページを知らなかった	2
その他	3

その他 (24名のご回答)	件数
情報の提供が少ない・わかりにくい	7
情報の入手方法がわからない	4
放送が聞き取れないから	2
住民の交流が少ないから	2
外国人のため情報が得にくい	2
その他	7

